

# 6/25 全国反戦集会に起とう

「戦後五〇年攻撃をはねかえし、二度と侵略戦争を許さない六・二五全国反戦集会」が、反戦共同行動委員会の呼びかけにより、東京・明治公園において開催される。

## 切迫する朝鮮侵略戦争の危機！

この六月二五日に反戦を掲げて、首都・東京において集会が行なわれることは、今日の情勢下において決定的に重要で、それは今から四五年前のこの日、朝鮮戦争が始まった日にあたるからです。現在、朝鮮半島をめぐる状況は、軽水炉交渉が決裂、米朝合意も崩壊の兆しをみせているなど、朝鮮侵略戦争の危機が今また切迫しています。

今年、敗戦から五〇年、ヒロシマ・ナガサキ被爆、沖縄戦五〇年目の年にあたります。  
**到来する大失業と戦争の時代！**  
「戦後五〇年」にあたる今年、この五カ月間に起こった事柄、「阪神大震災」、「急激な円高」、「地下鉄サリン事件」などの一連するオウム真理教事件、「東京・大阪知事選での青島・横山ノック知事の誕生」、「日米自動車協議の決裂」等々と、次々と今までの「枠組み」の中からは想定しえない、衝撃的な事件が矢継ぎ早に続出しています。

これは端的に言えば、「大失業と戦争の時代」、「階級的大激動の時代」が到来したと、はつりと自覚しなければなりません。そしてこれと対決する明確な闘いの水路を持たなければ、全てを一扫されてしまう凄まじさをもった反動のうねりを伴っています。

## 新たなアジアへの踏み出し策動

今国会において、「戦後五〇年の国会決議」が衆参院に提示されました。

与党三党によるその文案は、「近代史上における植民地支配や侵略的行為に思いをいたし、我が国が過去に行なったこうした行為や他国民とくにアジアの諸国民に与えた苦痛を認識し、深い反省の念を表明する」などというものです。

しかしこれを受けたアジア諸国からは、一斉に「謝罪・不戦」が盛り込まれていないと、糾弾の声があがっています。

「日本は米英と闘ったのであり、アジアと闘ったのではない。植民地支配などはなかった」、「韓国併合は円満に行なわれた」などという言質の中にこそ、支配階級の目論む新たなアジアへの踏み出し、朝鮮侵略戦争策動の意図をはつきりと見ることが出来る。

「戦後決議」そのものも、ア

ジア侵略支配、南京大虐殺等の殺戮行為など一片の謝罪も、「戦後保障」もなく、「戦後五〇年」を期して過去を「清算」していく悪辣な策謀を大きく含んでいると捉えなければなりません。

## 忌まわしき歴史を二度と

## 繰り返してはならない！

われわれは、アジアに対する侵略戦争と植民地支配の忌まわ

しき歴史を、二度と繰り返さない誓いを新たにし、この間の「災害」等をテコとした大反動攻撃をはねかえし、新たな反戦闘争の高揚をつくりだそうではありませんか！

戦後五〇年攻撃をはねかえし、二度と侵略戦争を許さない

## 六・二五反戦全国集会

日時 六月二五日(日) 正午より

場所 東京・明治公園(総武線千駄ヶ谷駅徒歩八分)

指定列車 千葉駅八番線発 一〇時四六分発快速最後部

動員範囲 勝浦支部を除いて各支部とも全力動員

大失業時代と対決する労働運動の真価かけ決起しよう！

## 動労千葉第三四回定期委員会

日時 六月一七日(土) 一三時

場所 千葉県物産センター

新たな動労千葉解体攻撃を粉碎しよう  
勝浦運転区廃止攻撃を断じて許すな！